

み ひん な の ば の



市 民 旅 行

今回で四回目を迎えた「市民旅行」は、十一月二十七・二十八の二日間、湯河原温泉ミカン狩りの旅を行いました。

参加した市民百三十人は、三台のバスに分乗し、一路湘南方面に向かいました。第一日は、あいにくの小雨もようでしたが、途中、キリンシーグラムのウイスキー工場などを見学してから、目的地の

消防団の通常点検



ミカン狩りをする一行
湯河原温泉に到着しました。

翌日は、うって変わった好天に恵まれ、参加者は「ミカン狩り」を楽しみました。帰りは、雪をかぶった富士山を背に、相模湾ぞいのハイウエーを一路日光へと向かいました。

今回の旅行は、前回までのような公式行事はありませんでしたが、ふだん交流の少ない市民間の親睦がなごやかに行われ、また、市外観光地の見聞を広めるなど、楽しい二日間でした。

防火の備えは万全

消防団通常点検

昭和五十三年度の日光市消防団通常点検が、十二月二日、安川町の市営駐車場で行われました。

この日は、市内の消防団員二百五十人のほか、市消防署員など約三百人が参加し、服装・機械器具・ポンプ操法・放水点検などを行いました。点検は、終始テキパキに行われ、市民の安全と財産を守る日ごろの訓練が、高く評価されました。

なお、点検終了後、総合会館で、別記のとおり、消防活動の功労者が表彰されました。

表 彰 (一)

(カッコ内は所属分団・敬称略)

●県消防協会長・日光市長表彰

◎永年勤続(三十八人)

金子健(6)、生出寅男(9)、星野武一(4)、岩本敏男(3)、星功(1)、石森正(5)、真壁貞夫(5)、茂木清(3)、加藤光男(5)、湯沢義雄(3)、菊地操(4)、山本勝一(9)、吉新金之助(7)、福田

武司(10)、篠田英夫(1)、堀口真利(5)、岡本庄九郎(5)、佐藤繁美(10)、大橋仁一(10)、水口謙周(4)、関口正勝(8)、大藤孝雄(9)、大橋登(10)、佐藤正国(10)、斎藤克己(7)、星野忠重(10)、宮田忠義(1)、君塚克己(1)、高緑一男(1)、薄井常男(2)、関輝久(5)、酒井喜明(6)、神山輝昭(8)、猪瀬洋二(8)、佐藤安重(10)、佐藤節正(10)、福田孫表(10)、北村富夫(10)

●上都賀支部長・日光市長表彰

◎優良消防団員(七人)

吉新良次(7)、藤沢国一郎(8)、佐藤善重(10)、茂木清(3)、加藤光男(5)、金子正義(6)、大藤山造(9)

●上都賀支部長表彰

◎永年勤続(十七人)

松本光博(1)、坂孝一(1)、高弘明(2)、羽石晃(3)、永井有三(3)、福田義広(3)、高村豊(3)、鈴木実(3)、曲洵和(5)、高藤哲男(6)、福田敏治(6)、山本英雄(9)、福田勝也(9)、星野繁(10)、柴田俊夫(10)、我妻重信(10)、高橋晴夫(10)

◎無火災分団

第七分団(昭和四十五年三月十七日～五十三年十二月二日)

●日光市長感謝状

◎消防協力者(一事業所、九人)

加藤木材興業(株)、萩原信一郎(細尾町)、樋口正勝(細尾町)、田村光忠(中宮祠)、江連勝(松原町)、森孝一郎(匠町)、手塚ナカ(塩谷町)、柏崎昌弘(湯元)、野中良一(鹿沼市)、岡部恒男(中宮祠)

消費者とマーク

T Sマーク

「TS」は(交通安全のスペル)の頭文字です。

十二月一日から道路交通法が改正されたのに伴い、自転車や自転車用反射器材などの安全基準が統一されました。

この安全基準の審査に適合したものについては、国家公安委員会がその形式(モデル)を認定し、これに基づいて作られた個々の製品については、財団法人・日本交通管理技術協会がその合否を判定します。「TSマーク」は、いわばその合格証。 「TSマーク」の対象となるのは、①自転車 ②自転車用反射器材 ③レッカー用のけん引用具 ④高速道路で車が故障したときに使う停止表示器材などの四種類です。

「TSマーク」は、お買い求めの際の製品判定の基準になるとともに、あなたを守る「安全マーク」です。

